

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年11月15日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103524
法人名	医療法人 起生会
事業所名	ハートフル林
所在地	鹿児島県鹿児島市武2丁目32番19号 (電話) 099-257-6977
自己評価作成日	令和4年10月25日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和4年11月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

同法人の医療機関との連携、訪問看護、24時間訪問看護師との連携体制、他科往診など安心できる医療体制を整えている。コロナ感染予防も徹底しており、感染疑いの場合、医療関係と連携し早急に対応できている。入居者様や、ご家族は直接会えない日々が続いていたが、感染も徐々に落ち着いており、短時間の直接面会や、外泊、外出に関しても感染予防を徹底したうえで様子を観ながら実施しており、入居者様、ご家族の皆様には大変喜ばれている。皆様に安心して過ごして頂けるよう優しさと思いやりの心を持ち日々頑張っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・事業所は新築移転して2年目を迎え、サロンや多目的スペースも完備し、コロナ禍が落ち着いたら今後地域のコミュニティスペースとして活用する計画である。
- ・母体医療機関・関連施設が近くにあり24時間医療連携体制が取れており訪問看護師が健康管理を行っている。
- ・消防署参加で年2回避難訓練を昼夜間想定で行っている。火災や水害・地震想定の実施も行っている。自主訓練では水害時の垂直避難、エレベーターが止まる前の行動を検討しながら実施している。スプリンクラーも設置している。母体医療機関や関連施設の協力体制もできている。
- ・コロナ禍で地域行事が中止されている。近隣の保育園児が遊戯や歌を披露しプレゼント交換に訪ねてくる。近くの公園に散歩時の挨拶等、地域とのつながりが途切れないように工夫している。
- ・感染予防に配慮しながら墓参りや買い物・ドライブ・自宅訪問・外食等にも出かけている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	スタッフルームに理念を掲示し、理念に沿ったサービスの提供が出来るように努めている。	理念は玄関・各階フロア事務所に掲示し、パンフレットや重要事項説明書にも記載している。職員のネーム裏にも添付し、ミーティングでも話し合いを行い、全職員で共有しケアの実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している	コロナ禍で制限があり以前のような交流の機会は減っているが、近隣の保育園との交流は、試行錯誤しながら実施している。	町内会に加入しているがコロナ禍で地域行事が中止されている。近隣の保育園児が遊戯や歌を披露しプレゼント交換に訪ねてくれる。近くの公園に散歩時の挨拶等、地域とのつながりが途切れないように工夫している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議に地域の代表の方に参加頂き、施設の状況を報告しご理解頂いている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍で会議の出席者も少なく、また議事録のみの報告もあったが、ご意見を参考にサービス向上に努めている。	コロナ禍で事業所の状況・外部評価結果報告等を議事録に記載し、委員へ報告のみの場合もあった。「コロナ禍で事業所が孤立しないように」との意見があり、家族の面会等を工夫しながら意見を基にサービス向上に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>不明な点は、市の担当者の方に相談するなど連携を取りながらサービスの提供を行っている。</p>	<p>市の担当者とは電話や窓口に出かけて書類の申請や相談を行っている。地域包括支援センターの職員は運営推進会議にも参加してもらい協力関係を築いている。研修の案内もありズーム等で連携を図っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束に関する指針を立て、施設全体で拘束を行わないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止委員会があり年2回勉強会も行っている。言葉遣いを含め拘束をしないケアに努めている。事業所の前の道路は交通量が多いため外ドアは施錠している。内ドアは施錠せず自由に行動できる。外に出かけたい様子が見れたら職員と一緒に事業所の周辺や公園、ドライブ等に出かけている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止について研修を行い、職員同士でも常に注意を払い虐待防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>成年後見人制度を利用されている入居者様のいらっしゃるの理解を深めるよう努めている。QOLを考え自立支援を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時は、担当者が全項目を読み上げ、不明点については説明を行い、納得頂いたうえでサインを頂くようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご意見箱を設置している。また面会や電話等でご意見ご要望を伺い施設の運営、業務内容に反映するよう努めている。	利用者からは日々の暮らしの中で思いを聞いている。家族からは電話で意見・要望を聞くことが多い。ホーム便りを季刊で発行したり、担当職員が毎月利用者の日々の様子を添えて送付している。差し入れを届けたい等の要望があり対応した。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ミーティングやカンファレンスで職員の意見や提案を聞き、施設の運営、業務内容に反映するよう努めている。	ミーティング・カンファレンスで職員の意見・提案を聞いている。個別面談も行っている。コロナ禍で感染予防の為にピンクと紺色の2色のユニフォームを取り入れたり、業務時間内に業務終了の取り組みも行っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	やりがいを持って働けるよう職場内環境作りに努めている。また、業務時間内で業務が終了するよう管理者を中心に職員間で声掛けを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>コロナ禍で予定していた施設外研修が実施されず、施設内研修も個々の研修に留まっており互いに意見を出し合いトレーニングする機会が減っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>コロナ禍で同業者との交流がままならない状況が続いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の言葉をそのまま記録することで、他の職員もご本人の思いを知れるよう工夫している。また、入居前に面談を行い状況把握に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族が不安に思っていることを汲み取り、分かりやすく丁寧に説明している。いつでも気になる事があれば相談出来る体制づくりを行っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用を開始する際も、その後も必要な支援があればご家族、職員間で共有し対応出来るように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の残存機能を活かして出来る事（洗濯物たたみ等）をお手伝い頂いている。また、昔からの行事について話を伺い施設内の行事に取り入れたりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族にご本人の気持ちを伝え、今の課題について一緒に考えて頂いている。面会制限はあるが、窓越しで電話を用いてコミュニケーションを取って頂くようにしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの美容院に通って頂いたりしている。また、会話の中で出て来た思い出の場所、地名について尋ねたり、写真、動画を観るなどしてコミュニケーションを取っている。	馴染みの美容室に行ったり墓参りにも出かけている。自宅を訪問したり買い物やドライブにも出かけている。写真や動画を見て話をしたり気持ちのうえでも馴染みの人や場所との関係が途切れないように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤立する方がいないよう、声掛けをしてレクに参加頂いたり、会話に入って頂くように配慮している。また、席の配置も考慮している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後のお問合せに対して、可能な限り丁寧に対応するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日頃の会話の中で得た情報を記録に残し、職員全員で共有するようにしている。ご自分で表現できない方は、ご家族に伺い本人本位に検討している。	入浴時や夜勤時に希望や意向を話されることが多い。会話の中で得た情報は職員で共有している。今はほとんどの利用者が話せる方が多いが困難な方は家族からの情報やアセスメント等から利用者中心の支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時や日常の会話の中で生活歴を把握し、その方にあった方法で支援を行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の状態変化を注視し記録に残し、必要な際にはカンファレンスを行い現状把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議やミーティングで日々の状態を共有し、ご家族の思いを伺い、ご本人の意向、要望を取り入れて計画の見直しを行っている。	介護計画は利用者の状況に応じて家族・訪問看護師や栄養士・理学療法士等の意見やアイデアを聞きながら作成している。モニタリングは3ヶ月、見直しは6ヶ月で行っている。状態の変化に応じて適宜見直しも行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ご本人の言葉、反応、通常とは異なった行動や様子等、細かく記入する様努め、そこから問題点を見出し日々のケアの実践に繋げている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	計画にとらわれすぎず、ご本人やご家族の状況を考えサービスに取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣の公園への散歩やコンビニへ買い物に行ったりしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	林内科胃腸科病院に月1回定期受診に同行している。ご本人の状況とご家族の希望で歯科、皮膚科の往診をお願いしている。	本人・家族が希望するかかりつけ医を支援している。母体医療機関で毎月定期受診を職員が付き添ってしている。歯科・皮膚科は往診である。訪問看護師が毎週健康チェックを行い、24時間医療連携体制もできている。適切な医療が受けられるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護は24時間体制で連携体制を整えている。異常がある場合は、随時報告し指示を仰いでいる。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>全ての入居者様は、月一回林内科胃腸科病院を定期受診しており、入院が必要になった際は情報提供もスムーズに出来るようにしている。退院の際も、安心して施設で生活出来るよう連携を取っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約時に状態の安定が保てなくなった場合の終末期医療の意向書を記入頂き、ご家族、主治医、施設職員が共有し支援を行っている。</p>	<p>重度化・終末期の指針があり契約時には説明を行い同意書ももらっている。状態の変化に応じて本人・家族・主治医・職員で話し合い、方針を確認し情報の共有をしながら支援を行っている。看取りの事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変、事故発生時に備えてマニュアルを作成し勉強会等を実施し、初期対応がスムーズに出来るようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回避難訓練を実施し、消防署員の方にもご参加頂き職員は避難方法を理解している。</p>	<p>消防署参加で年2回避難訓練を昼夜間想定で行っている。火災や水害・地震想定の実施も行っている。自主訓練では水害時の垂直避難、エレベーターが止まる前の行動を検討しながら実施している。スプリンクラーも設置している。母体医療機関や関連施設の協力体制もできている。災害時の備蓄は水・米・缶詰・乾麺等を準備している。カセットコンロや懐中電灯等の備品の準備もできている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>利用者の人格、誇り、プライバシーを損かわないように常に振り返りの機会を持つようにしている。</p>	<p>利用者の人格尊重・プライバシー確保について接遇研修を年1回行っている。入室時のノックやトイレ誘導の声掛け、名字でさん付けで呼ぶ等、本人の誇り・プライバシーを損ねない対応に努めている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>日常のコミュニケーションの中で、衣類の選択等、自己決定を働きかける声掛け実施を行っている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>生活習慣、生活のリズムを大切に、利用者に合わせた支援が出来るよう配慮しながら希望に沿って支援している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>定期的に訪問カットに来て頂くなど、髪の毛の乱れや髭剃りなどにも配慮している。洋服選びなどはご自身の好みを尊重している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べたいものを出来るだけメニューに加え、食事の時間が楽しみになるよう心掛けている。ミキサー食の方には、食材を説明しおいしく召し上がって頂ける工夫をしている。	献立は希望を聞きながら作成し栄養士にもコメントをもらっている。食事形態は個々に応じて行っている。誤嚥防止のキザミ食の工夫、外食の楽しみの支援も行っている。干し柿・干し大根等を作ったり、団子やお好み焼き・たこ焼き等を一緒に作り食べている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量に十分配慮し、月1回の体重測定を行い利用者に合わせて食事形態を検討している。また、管理栄養士に相談、助言をもらいながら支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	できる範囲で自力で口腔ケアをして頂くよう声掛けを行い、状況に応じて職員が介助している。夜間は義歯を洗浄剤につけ起きするなどして清潔を保っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を利用し、個々の排泄パターンを知りその方にあった声かけを行っている。自尊心を傷付けないよう配慮しながら支援を行っている。	プライバシーに配慮しながら排泄チェック表から個々の排泄パターンに応じた声掛けや介助を行い排泄の自立に向けた支援を行っている。利用者に穏やかに対応できるように職員間でも声掛けを多くしたり、情報共有しながら対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々の体操参加の声掛け、水分補給を促す声掛け、状況に応じて下剤や座薬を使用し便秘予防に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴の曜日を決めてはいるが、一人一人の状況に合わせてゆったりと入浴出来るよう対応している。	週2回午前中と決めているが個々の状況や希望に応じて対応している。入浴剤を使用しながらゆっくり入浴している。入浴拒否時は声掛けや翌日に変更する等、臨機応変に対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体操やレクリエーションへの参加を促し、夜間に良質な睡眠が取れるように生活リズムを整えるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の変更、増減等、職員間で情報共有を行い確認、記録に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	好みやご希望に応じて歌を歌ったり、近所の公園へ散歩に行ったりなど、負担にならないよう声掛けしながら気分転換等の支援を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	コロナ禍のため制限はあるが、家族や飲食店の方の協力を得ながら個別に外食レクを行ったり、近所の公園へ散歩に行ったり季節を感じて頂けるよう支援している。	日常的に近くの公園やドライブ・買い物・自宅訪問等に出かけている。年間計画はあるがコロナ禍で変更もある。個別に外食に家族と出かけたり、コスモス見物に行き、おやつを食べてお茶飲みをしている。家族と協力しながら日常的にも外出支援を行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在お金をご自身で管理されている方はいないが、本人、家族の同意を得て施設内金庫で管理している。いつでもお返すことは可能で、必要な場合には職員が代わりに購入している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご自身でスマホを持ち自由に家族と連絡が取れる状況である。また、希望があれば電話を掛け取り次ぐよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者にとって不快のないよう日々の清掃、消毒は徹底している。また、温度湿度管理を行い、季節の花、装飾を行い居心地の良い空間づくりに努めている。日差しの調整、夜間の照明には気を配っている。	共用空間は広くて明るい。日差しの調節や照明にも配慮している。清掃や消毒をこまめに行い、温度・湿度・換気に気を配り過ごしやすい環境になっている。季節の花を飾ったり利用者の作品を掲示している。テレビを観たりしてゆったりと居心地よく過ごせる空間になっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自席の他、ソファに座ったり、外を眺められる場所に椅子を移動したりして居心地よく過ごせるよう工夫している。また、気の合うご利用者同士でコミュニケーションを取るなどされている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人、家族と相談し使い慣れた寝具、家具、家族写真等を居室に持ち込んで頂き、居心地よく過ごせるよう工夫している。フロア内も安全な環境作りに努めている。	居室には電動ベッドやエアコンが設置されている。家族と本人が相談して寝具やハンガーラック・家族の写真・テレビ・椅子等の使い慣れたものを活かして居心地よく過ごせる工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	フロア、トイレ、お風呂等共有スペースには手すりを設置している。また、居室やトイレ、フロアの自席に名札を貼るなどして自立した生活が送れるよう工夫している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない